

平成30年度授業改善推進プラン

清瀬市立清瀬第四中学校第2学年

	学力調査から見えた課題(調査のない教科は授業における課題)	授業改善のための具体策
国語	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の書き取り問題。 慣用句の意味を理解する。 資料を比較し、読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校までの漢字の復習テスト。毎週の新出漢字テストの実施。 準拠ワークや便覧を使つての語彙力の強化。 読みの学習を通じて読み取り方を覚える。
数学	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な知識・理解や技能を身に付ける。 学習習慣の確立。 	<ul style="list-style-type: none"> 小テストなどを行い、自己評価をする機会を多くつくり、自己の学習成果をとらえやすくする。 家庭学習の課題を多く与えるとともに、その取り組みや成果を評価する。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 自ら進んで考えようとする姿勢の育成 思考・判断・表現力の向上 資料活用技能の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 小集団による活動の場を増やす。 多様な資料等を活用したり、発問を工夫したりすることで、思考・判断したことを「分かりやすく話す・書く」指導を徹底する。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 観察、実験の技能を正しく身につける 観察、実験の結果を科学的に考察し、文章で表現する力をつける 	<ul style="list-style-type: none"> 考察する項目を明確にし、表現のしかたを例示して一人ひとりがきちんと考えて記入できるようにする
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 表現力に個人差があり、一つの合唱を作り上げる際に力の差が大きく出ること。 音楽の特性や変化を知覚し、作曲家の思いや意図を感受する力が乏しい。また、感じたことを言葉で表現し、伝える力が弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> 良い表現をわかりやすく提示し、自己表現しやすい雰囲気づくりを心掛ける。 グループやパート内での意見交換から、言葉で表現することに慣れていく。
美術	<ul style="list-style-type: none"> 表現と鑑賞を有機的に結びつけて、仲間の作品についても肯定的な視点で捉え、作者の思いを感じ取るようとする鑑賞力。 感じたこと、考えたこと、鑑賞したことなどを自分の言葉で的確に表現すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 制作カードへの記入など言葉で考えることを通じて、制作過程の振り返りをより深めさせる。また、完成作品について批評をし合うなど、言語活動を取り入れ、言語能力や鑑賞力の向上を図る。
保健体育	<p>(男子)</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎運動能力が低い。 競争心が低い。 <p>(女子)</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動能力が低い。 集団行動やリーダーを中心として活動する場面で、自主的に活動する習慣が身につけていない。 	<p>(男子)</p> <ul style="list-style-type: none"> アップ、補強運動、ダッシュ、メイン練習等で運動能力向上を図る。 <p>(女子)</p> <ul style="list-style-type: none"> 補強運動を工夫し、運動能力向上を図る。
技術・家庭	<p><技術></p> <ul style="list-style-type: none"> 板書や話を聞いてノートをとるなどの力に物足りなさを感じる反面、ものづくりに関しての再現力等については力を感じることも多い。 <p><家庭></p> <ul style="list-style-type: none"> 授業に前向きな生徒とそうでない生徒がいる。 	<p><技術></p> <ul style="list-style-type: none"> 板書の工夫、大切な箇所はその都度説明を行う。 左記のスキルについて、伸長させるべく全体への説明と個別の説明を織り交ぜ授業を進めていく。 <p><家庭></p> <ul style="list-style-type: none"> 実物を見せることによって納得することがあるので、視覚的な効果を考慮した授業を行う。
外国語(英語)	<ul style="list-style-type: none"> 文字を読みやすく書いたり、簡単な単語を覚えて書いたりすることを怠る生徒が多い。 簡単な英語のやり取りでも、英語を発することに抵抗のある生徒が一定数いる。 英語の単語や文を書きなれていないため、正しいつづりや文法に則った文章を書くのが難しい生徒が大変に多い。 	<ul style="list-style-type: none"> こまめに単語テストを実施し、書く習慣を身に付けさせる。 ペアワークなどで、自分の身近なことについて英語で表現する機会を設け、英語を使うことへの抵抗感を減らす。